

“志太の郷まつりのこと” (2018. 11. 12)

昨年 11 月に南新屋からふじみ台に戻って 1 年が経ちました。しかし、20 年も住み、壮年会長まで経験させて頂いた南新屋の皆さんとのお付き合いは続けさせて頂いており、昨日は南新屋壮年会として（本当は南新屋町内会としてですが）「志太の郷まつり」に 1 日参加させて頂き、皆さんと一緒にたい焼き 540 匹（販売 520 匹）を焼かせて頂きました。同時に、同じテントで南新屋壮年会として約 300 個の焼きいもを販売しました。そのうえ、凶々しく夕方から（実際は私だけ 14 時半から南新屋会館で飲んでましたが）の慰労会にも参加させて頂き、楽しく過ごさせて頂きました。南新屋壮年会の皆様、ありがとうございます。12 月 15 日の忘年会も誘われましたが、土曜日はあいにく仕事ですので失礼しますが、嬉しい限りです。20 数年前、ここふじみ台でも壮年会結成を試みましたが、ならず。でも、やはり地域での繋がりには大事にしたいものです。大晦日、「年越しそばを自分で打ってみませんか？」って書いたチラシで、助宗・ひだまりでの「大晦日年越しそば作り」を呼びかけ、そのきっかけ作りでしようかな？

“不登校の対応” (2018. 11. 3)

この 7 月 18 日に対応して 1 カ月弱で、東京都世田谷の中学 3 年生が再登校し始め、10 月 4 日にも対応して 1 ヶ月余りで、藤枝市内の中学 3 年生が再登校し始めました。先週も藤枝市内の中学 2 年生が、まだまだ不完全ながら学校に登校し始めています。またこの間に、2 名の若者が行く先の進路も模索し始めました。25 年余心理学を活用して様々な子ども達の対応を始めて、204 名もの子ども達のその解消のお手伝いをさせて頂きました。しかし、204 名みんな対応は異なり、マニュアルはなかなかできないものです。ただ一点共通していることは、この子の将来のために必ずその素因を見つけ解消させるという気概です。数カ月の対応を得て解消した時の笑顔が、最高のお返しです。

“されど、GOカート” (2018. 11. 2)

今日虹の架け橋菊川小笠教室の日本語を母語としない子ども達の社会見学で、浜松市の「クイック浜名」の池田社長さんのご厚意で、GOカートを体験させて頂きました。エンジン付きのGOカートは、遊園地の電気ゴーカートと全く

違う体感にびっくり。それに乗った後のあの達成感は自信の回復にも繋がり、不登校・引きこもりの青少年たちの解消プログラムに活用できます。また、「これから乗ろうとしている人が他の人がGOカートに乗っているのを見るスピード感と、見物人として見るスピード感は全く違う」との池田社長の言葉、納得でした。「たかがゴーカート。されど、GOカート」を実感した1日でした。

“R君のこと” (2018. 11. 1)

彼は祖父が日本人の日系3世フィリピン人である。中学3年の11月に親の都合で来日。ところが、焼津市独自で日本語指導するとのことで、弟と妹は小学校就学が認められたものの、彼は日本語が全く分からぬまま中学校卒業資格取得だけのために（勿論、親の都合で来日したからそれだけの理由ですが）焼津市立和田中学校に就学することが認められず、ふじのくに中央日本語学校に来た。驚異的な彼の努力で僅か半年で日本語の日常会話を習得し、11ヶ月後の昨年10月、中卒認定試験を受験し、英語・数学・理科・社会の4科目に合格。1年後の先月25日、残りの国語の中卒認定試験に再挑戦しました。結果は12月中旬に出る。しかしながら、焼津市独自で日本語指導するのならば、2年前の11月に和田中学校就学をさせて頂ければ、こんなに優秀な子が高校進学のために2年も足踏みをすることがなかったと悔やむばかりです。

“杉山隆一氏との楽しいお酒。” (2018. 10. 31)

昨日また、メキシコオリンピックサッカーで日本が第3位に輝いた時のMF、「黄金の足・杉山」と称された杉山隆一氏と、ホント楽しいお酒のお供をさせて頂きました。ありがとうございました。サッカーはただただ見るのが好きで剣道少年の私が、20数年前チームの新聞を書いていた藤枝ブルックスのJリーグ参入問題がらみで、藤枝東の先輩で当時の県会議員の紹介で氏とお会いして以来、特にここ数ヶ月の間、毎月の如くホントに楽しいお酒のお供をさせて頂いております。

昨日は氏の股関節手術の話やシーズン中の選手との対応についてなど、氏の信念も交えたお話もあり、ホントに楽しいお酒でした。77歳ながらまだサッカーができる日を夢見てリハビリを続ける氏の姿に感動もしました。来月もまた、氏とのお酒のお供が楽しみです。

“「小さな人間たちの詩」再び書き始めました。” (2018. 10. 30)

昨日書きました内閣府主催の「専門分野横断的研修」に参加された方で、本ホームページのこの私の日記や、別ページの「小さな人間たちの詩」を読まれている方から、早々に名刺交換を受けました。いやはや、お恥ずかしいことながら、直接「読んでます！7月下旬、今回の研修に参加する名簿が届いた時、同じ静岡県から受講する人はどんな人なんだろうかと、ホームページを調べて読ませてもらいました。いいお話でした。お会いできてよかったです」と言われると、嬉しいものです。と同時に、「ひげぐま先生のひとりごと（旧題「つれづれなるままに」）」も書かなくちゃと反省しました。それで、こちらも少しずつ書くことにしました。形式も html 形式ではなく、「小さな人間たちの詩」と同様に、読みやすい pdf 形式にしました。宜しくお付き合い下さい。

“内閣府主催「平成 30 年度専門分野横断的研修」受講” (2018. 10. 29)

ホント久しぶりの本コーナーの書き込みです。ご無沙汰しておりました。この間に、現在 86 歳の母親が交通事故に遭い、約 6 か月の入院、リハビリ後、静岡市内の介護施設に当時 88 歳の父親と共に入居。その 6 か月後、有限会社静岡オープンスクール本社と共に、20 年振りに最初に建てた藤枝市瀬古の家（両親が住んでいたんですが）を改装して転居。その 2 か月後、父親が 89 歳で他界。年が改まった 2018 年 3 月、藤枝市前島の A S R パソコン教室「ぐるっポ」をやむなく閉鎖。更に同年 7 月、焼津市大島のふじのくに中央日本語学校と、藤枝市前島のロボット教室を、藤枝市瀬古の自宅の 2 階に移転。体制を改めました。

そして過日 10 月 22 日～26 日、表題の「専門分野横断的研修」を受講してきました。6 年前の同じく 4 泊 5 日の内閣府主催「困難を有する子ども・若者の相談業務に携わる民間団体職員研修」に続く研修で、非常に内容の濃い研修でした。これも一重に、この 4 泊 5 日間の研修に私が参加できるように取り計らって頂いた職員の皆様のご配慮に感謝するばかりです。ありがとうございました。

今回の研修は様々な子ども達の対応における対応する諸団体の連携の仕方を主に、オープン・ダイアログや認知行動療法のやり方、SNS 相談のノウハウなど、より実践的な研修ですぐに現場で活かせる内容でした。ただ本音を言わせて頂ければ、内容が濃いだけに私の理解のスピードに合わせて頂けるならば、ホントは今回の研修の 1.5 倍程度の時間が欲しかったです。

それにしても今回の研修も交通費も含めすべての費用が内閣府の負担で行われたもの。皆様の税金で実施されたものを肝に銘じて、今後の様々な青少年の

皆様の対応に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。